

ボランティア活動レポート ②

ボランティアの種類：高齢者施設 ボランティア

ボランティア場所：South Granville Seniors Centre (SGSC)



こちらの施設は、近所に住む 55 歳以上の方が参加できるコミュニティーセンター になります。

毎月プログラムが発行されており、開催される教室やイベントに参加される方はその時間に SGSC へ来て、各々のプログラムを楽しみ、終われば自宅へ帰る、というものです。

スタッフは 3 名のみで、その他はすべてボランティアの方で成り立っています。受付、調理、食器洗いに掃除担当、またイベントを仕切る(ベテラン?) ボランティア、などなど…、とにかく大勢のボランティアさんが、みな長年に渡りこちらの施設で活動が続けているそうです。スタッフの方 3 名は毎日とにかく忙しそうで、私のような新入りボランティアは、ベテランボランティアさんたちに聞いて作業をするという流れになっていました。

South Granville Seniors Centre の入口



下：ロビーになります。





上の写真の場所以外にも、事務所の奥に1つ、廊下を抜けて更に奥に部屋が1つ、またエレベーターで上がって、上の階にも広いホールがあって、ESL のクラスや Yoga、太極拳、骨粗しょう症予防体操教室にアートクラスなど、多種多様なクラスが毎日開かれています。



こちらに来られる人の中には高齢の方もいらっしゃいますが、基本的に歩行や食事の介助が必要のない、元気な方ばかりでした。

←ちなみに、この女性89歳！Aldaさん。

脚が弱いからと自宅までは送迎バスを利用されて毎日来ているそうです。とても話好きで、その話し方が面白くて！

私は、写真の左下にある本を片付けるようにスタッフさんをお願いされていたのですが、運んでいる途中で「私好みの本はあるかしら〜？」と彼女に呼び止められ、つい、仕事を忘れておしゃべりしてしまいました(笑)



写真を一緒に撮りたいとお願いしたら、メガネを外してこの優しい笑顔を見せてくれました。

下：真ん中の女性、なんと101歳！SGSCの最年長者で、皆からGrandmaと呼ばれています。



足腰も丈夫で、ビンゴゲームでは優勝していましたー！ 笑顔がチャームングですね～。

ビンゴゲーム中。真剣に黙々と勝負している女性たち。ちなみに、小銭をかけてやっています(笑)



見よ、この Grandma の真剣な表情！ まだまだ長生きしますよね～。



活動場所へ持っていくもの：ランチ。昼休憩は12時から1時間取れるので外で食べてもOKでした。

服装：掃除やテーブル等の片づけ、食器洗いが毎日ある為、動きやすく・汚れても良い恰好が望ましい。

一日の流れ 活動 9:00~16:00

毎日9時までに活動場所へ到着後、他のボランティアやインターンの方たちと一緒に協力して作業する。
私の活動中、ワーホリでカナダに來ている日本人ボランティア1名、インターンシップ中の日本人1名と韓国人1名がいたので、毎日一緒に業務をこなしていました。

【毎日行う業務】

- ・午前中に、コーヒーと紅茶を作り、砂糖・ミルク、カップと一緒にお茶飲みカウンターへセットする。
（作り方は細かく決まっているため、ベテランボランティアさんに確認しながら行う。）
- ・12時からのランチの準備・配膳・片付け
 - ①長テーブルと参加する人数分のイスを多目的ホールへセッティング。
ここは夜に劇場と化すので、テーブル等を置いておけず毎日運んできてはセッティングするシステム。
 - ②テーブルクロスを掛けて、グラスやナイフ、フォーク、ティーセットをセット。
 - ③ランチが始まれば、お茶出しと食事の配膳を行う。
 - ④食事が済んだら、食器をキッチンカウンターへ下げ、その後、食器洗いと片づけをする。



Spanish のクラスで、にぎやかにランチしているところです。



↑手前に映っているのが、ワーホリの日本人ボランティアさんです。無口で黙々と仕事をこなす人でした。



このようなランチを一緒にいただきました♪

ランチは有料で、事前に申込をしておく必要があります。（スタッフも利用者も）
この施設では \$ 7 ですが、ボランティアスタッフは半額で提供してもらえます。



こちらで、コーヒーと紅茶を作ります。

古株ボランティアさんの中には、こだわりが強い方もいらっしゃるようで、作り方を間違えると嫌味を言われてしまうとか？！

でも、基本的には皆フレンドリーですよ(笑)

食事が終わった後の業務

- ①流しで食器を手洗い
- ②その食器をトレーに乗せてから食洗機へ入れる。(高温水で洗い流す)
- ③食洗機が止まったら、食器を取り出し、しばらく放置するか布巾で水気を拭き取り、食器棚へ片づけ、終了。

※一連の作業を他の方と協力しながら行う場合と一人ですべて行う時もありました。

毎日15人分位の食器を片づけます。結構な量です。



ここまでの業務が終わると、だいたい14時頃です。

その後は、ボランティアコーディネーターの Merrily さんに指示を仰ぎ、その都度ボランティアが必要な場所へ配属され、お手伝いをしていました。

と、ということで、こちらの施設での活動内容は、お茶作りとランチ時の業務以外は毎日違うことをしていました。ボランティアに行く時期によっても大きく異なると思います。

ですので、派遣時期によってはイベントの手伝いも出来て楽しい活動になると思います。残念ながら、私の時はちょうど Thanksgiving のイベントが終わってしまっていたので、イベント事がなくちょっと残念でした。

【その他、派遣期間で行った業務】

- ・施設近くの大きな通り Broadway street 沿いにある掲示板にポスティング
(年2回開催されるバザーが11月に予定されている為、その案内ポスターを貼って回った。)
- ・徒歩10分位のところにある、酒屋さんに空き箱をもらいに行く。
よく、もらいに行っているようで、「SGSC から来ました〜。」という顔パス状態でした。「好きなだけ持って
いっていいわよ〜。」ってな感じです。
- ・図書館に SGSC のリーフレットを置きに行く。
- ・ビンゴゲームに夢中になる女性人たちに、途中ティータイムの提供。お茶作り、お茶配り、食器片付け。
- ・ESL クラスが始まる前に、教室の準備。テーブル・人数分のイス、ホワイトボードの設置。
- ・“Accepting donations”のポスター作り(PC 使用)。
- ・11月の大イベントであるバザーに向けての準備が毎日行われていたのでそのお手伝い。
寄付してもらった本や食器などを整理して、売れそうにないものはゴミとして分別、売れるものは汚れを
落としキレイにする。
年2回のバザーはかなり盛り上がるそうで、その売上は SGSC にとって大変貴重な財源になると
Merrily が話していました。

活動先でのエピソード

South Granville Seniors Centre は『ボランティアで成り立っている』と言っても過言ではないです。一日見ても、多くのボランティアさんが出入りし、それぞれの方がボランティア活動をライフワークにされていて、ご自身の忙しい日常生活の中で合間を見つけては SGSC へ来てボランティアをして帰る、といった感じ
です。中にはちょっと顔を出しておしゃべりして帰る人もいますが、これこそが、大切なコミュニケーションの場
になっているのですよね。それに、私みたいなちょっと数日お手伝いに来るだけのアジア人を見ても、気軽に、
というより前から知り合いだったか？と思わせるほど自然に会話が生まれ、気づけば二人で話しながら泣い
ていたり…なんてこともありました。

あらためて、カナダの人たちの温かさに触れ、またさらにカナダが好きになりました。

そして、バンクーバーは私の第2の故郷だと強く感じました。出会う人みんなが「また帰っておいでね。」っ
て言ってくれるんです…(号泣です)。恩返ししなくてはいいけませんね。また、バンクーバーへ帰った際に
は、ボランティアしようと思います。その時は、もちろん SGSC にも立ち寄るつもりです。Grandma にまた
会えたら嬉しいですね…。

ボランティア活動に関して

・ホストファミリーから派遣先までの行き方、所要時間やかかった費用

家から South Granville Seniors Centre までの所要時間 35 分／片道 \$ 2.75

家→バス停(徒歩 7 分程)→# 9 バスで施設近くのバス停(30 分程)→徒歩 5 分で派遣先到着

バンクーバーにはこのようなポールがたくさんあります。そこへバザーの案内ポスターを貼っていました。青空の下ぽかぽか陽気の中、1時間半ほど歩き回りましたが気持ちの良い散歩にもなりました♪



ポスターを貼っている最中にも、「いらない物あるぞー。直接持っていけばいいのかい？」と話しかけてくる方もいて、ポスターを手渡して差し上げたこともありました。

あ、もう一つエピソード。

“Executive Director”のClemenciaさんの指示でポスターを郵便ポストや電話ボックスにまで貼ったんです。もちろん、「これは違法じゃないのか？」と他のボランティアと不安に感じながら。そしたら、案の定、翌日区役所から注意の電話を受けました…。「ですよー」って皆心の中で思っていたはずです。Merrilyにその事を話したら、以前にもそんなことがあったような

表情を浮かべ苦笑いしていました。さすがですね、コロンビア出身 Clemencia さん！（笑）



イベントがあった時の写真が飾られていたので、それを写真に収めてきました。何のイベントだったかは不明です。すみません。でも、きっと帽子を手作りしたんでしょうね♪

イベント時の様子



ちなみに、一番右側にいるのが、Mark(Kankuro) Suzuki さんで Jan Link のスタッフさんです。

イベントで人手が足りない時はこのように手伝いに来ることもあるそうです。その際、Jan Link に来られる留学生たちにも声を掛けて参加してもらおうそうです。留学生たちにとって、学校以外での良い経験になっているのですね。素晴らしいですね！

毎週1回、この方は、SGSCでインターンとして数か月働いていた、日本では看護師の女性です。(もう今頃は日本に帰国されていると思いますが。)



このようにクリニックを自身で立ち上げて SGSC に来る方たちの健康チェックをしてあげていました。

もう一人、韓国人インターン(23歳の甘ちゃん坊や)がある日、食器洗いをしている最中に、割れたグラスで手をざっくり切ってしまい、その際には、素早く応急処置をしてあげて近くの病院まで連れて行ってあげていました。頼りになる姉さんの存在でした。また、私には毎日ボランティア活動に関してご指導いただきました。京都出身で、おしゃべりがとても面白くて、よく笑わせてもらいました。まるでよしもと新喜劇を観ているかのようなリアクションに、耐えきれず、よく大爆笑していました。

参加期間 2013年10月11日～17日

30代 女性 S.T さん